

2010年7月30日
富士フイルムホールディングス株式会社

2010年度 第1四半期 決算説明会
主な質疑応答

Q1:手元キャッシュが4,300億円程度ある中、年度末には社債の償還もありますが、自社株買いを含めたキャッシュマネジメントに関する考え方を教えてください。

A1:上期の状況を見て、下期～中期的キャッシュポジションを見据えた上で、自社株買いや配当をどうするか見通しを立てて考えてまいります。

Q2:デジタルカメラは営業利益で黒字化できたのでしょうか。

A2:販売台数は好調でしたが、ユーロ安がネガティブに影響し、ほぼ収支トントンの結果となりました。

Q3:フラットパネルディスプレイ材料事業での設備投資を400億円計画していますが、この投資により減価償却費はどの程度増加するのでしょうか。

A3:これまでに既存の生産設備の減価償却がかなり進んできていますので、新規生産設備の稼働の影響によって、同事業に関する償却費が増加することはありません。

Q4:人員が増加していますが、どの地域の人員になりますか。

A4:中国の生産人員が1,200名程度増加しました。

以上